

GTFS及びGTFS-JPの 概要について

令和2年8月5日
国土交通省総合政策局
モビリティサービス推進課

概要

- データ形式は、他のシステムで活用しやすいCSV形式
- データ項目は、停留所の位置や通過時刻表等一般路線バスの基本的な案内に必要な項目
- 北米や欧州で広く普及するフォーマット（GTFS※）と互換性を確保
- 事業者や自治体が「標準的なバス情報フォーマット」を利用するための「解説書」をあわせて作成

※GTFSとは…

（General Transit Feed Specification）

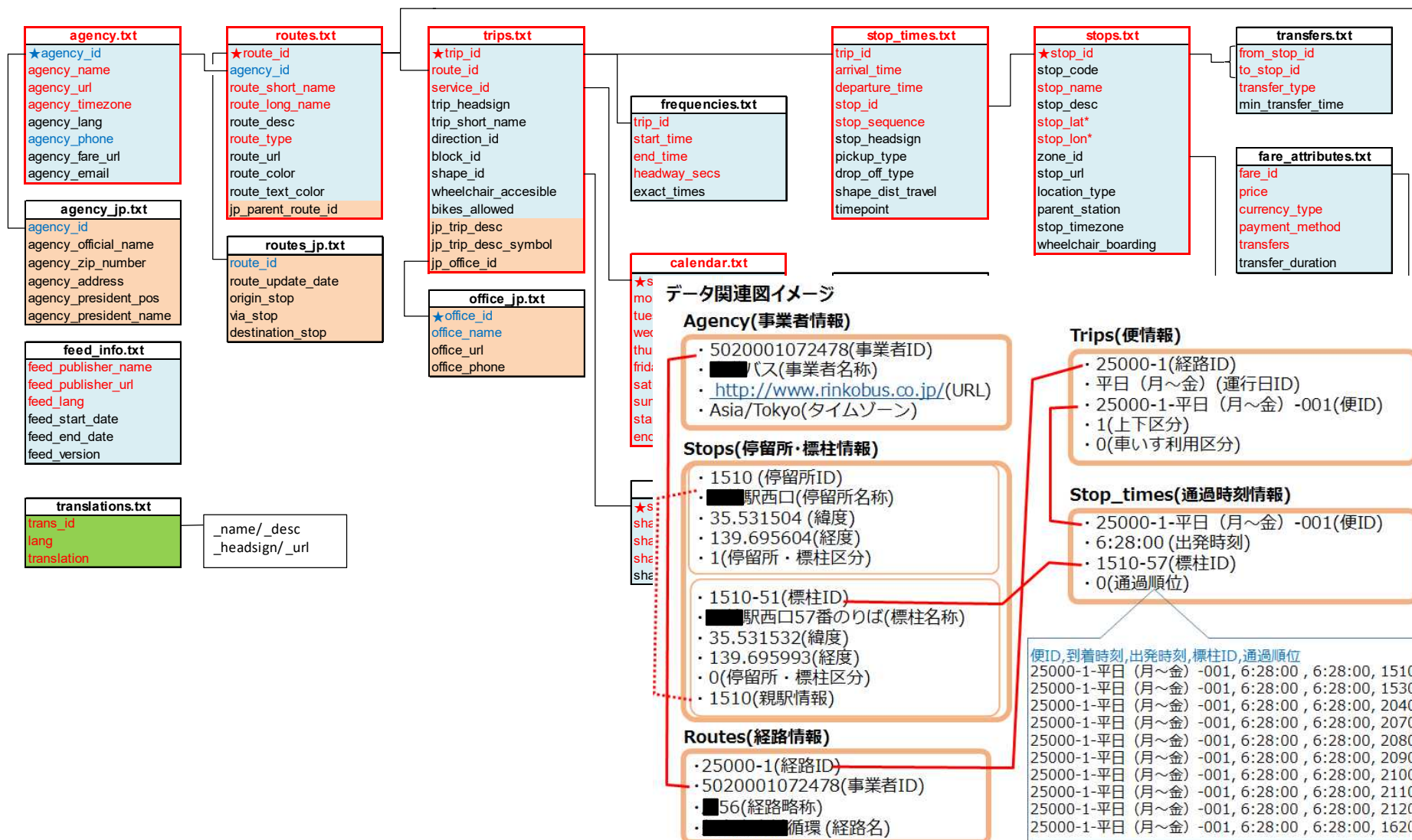
- ・公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通形式を定義したもの
- ・当初はGoogle社向けのフォーマットとして作成されていたが、現在はオープン化され、誰もが使用できるものとなっている。
- ・中小事業者の利用も視野に、表計算ソフトでの閲覧が容易なCSV形式を採用し、使用ができるものとなっている

効果

中小バス事業者等と経路検索事業者等との情報の受渡しが効率化されることで、経路検索におけるバス情報の充実が期待される。

「標準的なバスフォーマット」概要

- データ形式は、他のシステムで活用しやすいCSV形式
- データ項目は、停留所の位置や通過時刻表等一般路線バスの基本的な案内に必要な項目
- 北米や欧州で広く普及するフォーマット(GTFS)と互換性を確保

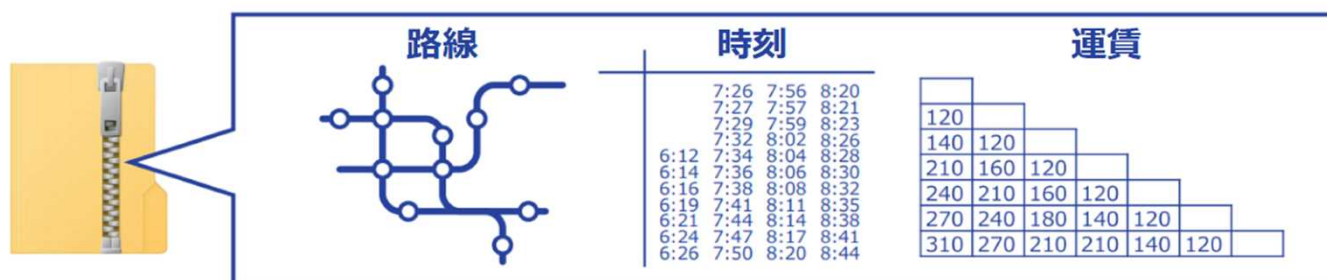


「標準的なバス情報フォーマット」の拡充

目的

- ・ バスの運行は道路混雑状況により日常的に遅延が発生することが多いため、バス利用者にとってバスロケーションによる動的情報は極めて重要な情報ですが、情報提供はバス事業者の作成しているホームページや自社アプリケーションに限定されていることが多く、複数事業者が運行している路線などでは利用者にとって使いにくい状況です。
- ・ このことから、「GTFSリアルタイム」を動的データの標準的なフォーマットとして定め、「標準的なバス情報フォーマット」に追加しました。（平成31年3月）

概要



➡ 情報提供や交通分析に利用、**バスロケとも連携可能**(GTFS Realtime)

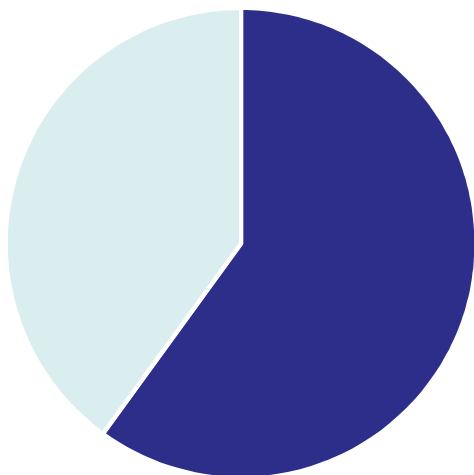
区分	フォーマット名	対象とする情報
静的データ	GTFS-JP (2017年3月～)	停留所、路線、便、時刻表、運賃 等
動的データ	GTFSリアルタイム (2019年3月～)	遅延、到着予測、車両位置、運行情報等

「標準的なバス情報フォーマット」の広がり

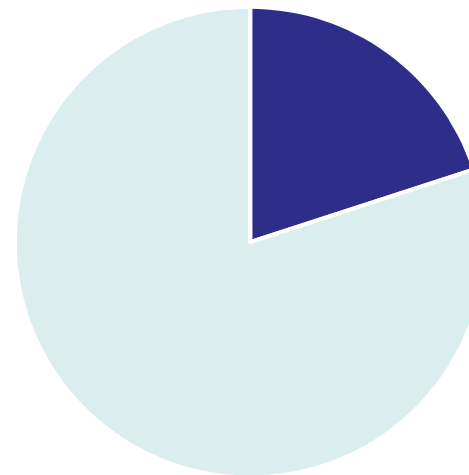
乗合バス事業者では比較的「標準的なバス情報フォーマット」による整備が進んでいるが、コミュニティバスではまだ進んでいない状況。

運行する路線を G T F S 化しており、
かつ経路検索サービスで検索可能な事業者・自治体※

・乗合バス 約 6 割



・コミュニティバス 約 2 割



(2020年3月現在：精査中)

※各運輸局を通じて行ったアンケートに回答した事業者・自治体を対象。

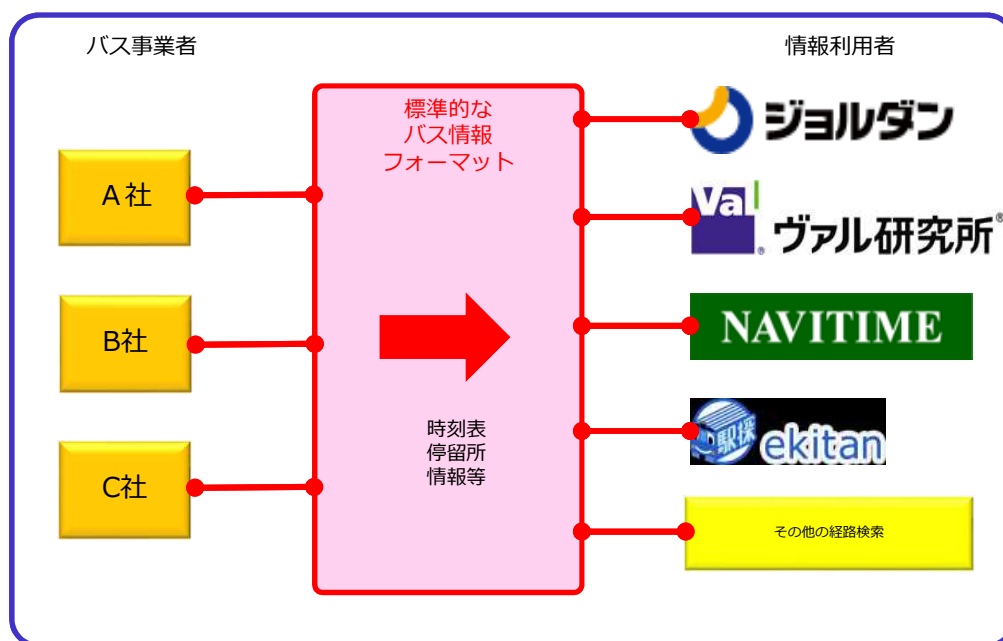
「標準的なバス情報フォーマット」のメリット①

① 小規模バス事業者やコミュニティバスも経路検索サービス等に掲載される

これまで経路検索サービスに載りづらかったバスについても、より多くの経路検索サービスに掲載されやすくなります。

② バスロケ情報が経路検索に掲載される

大手事業者を含めても現状ごく限定的な、経路検索サービスを通じたリアルタイムのバスロケ情報を簡易に行えるようになります。



「標準的なバス情報フォーマットによる
情報提供のイメージ」

「標準的なバス情報フォーマット」のメリット②

③ 運行情報が経路検索に掲載される

災害時やイベント開催中の、運休、迂回、増発等の情報を利用者に伝えることができます。

台風時の運休予告（宇野自動車）



Sujiya Systems Twitter投稿より

イベント時の続行便・混雑案内（永井運輸）



永井運輸「GTFISデータの取組みと災害時への対応」より

「標準的なバス情報フォーマット」のメリット③

4 多様な活用ができる (ワンソース・マルチユース)

経路検索以外の情報提供（デジタルサイネージ等）や交通分析も可能になります。

My時刻表*1

山形県を巡るバス

岡山市役所前

そのあと到着地を選んでください
イオンモール岡山前・源吉光庵本社前

表示形式: ●便ごとの発着時刻 ○時間ごとの発時刻

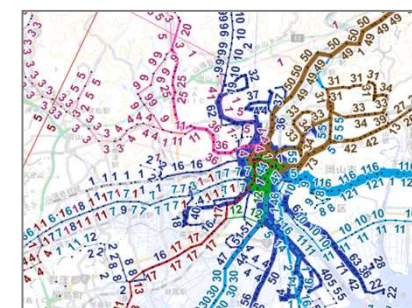
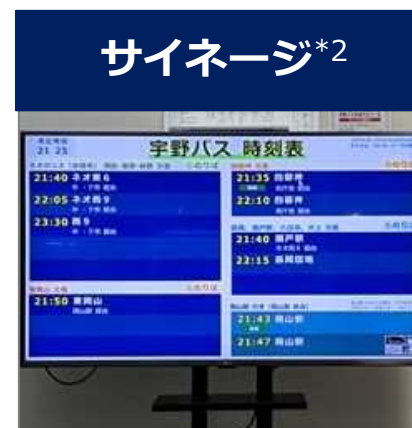
発時刻	着時刻	会社	行先
06:41発	06:43着	岡電	岡山駅 行
06:43発	06:45着	岡電	岡山駅 行
06:45発	06:47着	岡電	岡山駅 行
06:50発	06:52着	下電	天満屋 行



マップ*1

5 事業者自身が 案内の正確さを向上できる

特別ダイヤや運休を反映し、バス停情報もより正確に多言語で整備できます。



交通分析*1

6 業務の効率化ができる

経路検索事業者等へのデータ提供の一本化や、業務のIT化に繋がります。

*1 トラフィックブレイン「公共交通オープンデータ 活用事例と発展への期待」より

*2 Sujiya Systems「その看板」